

キッズ・ルピナス 東戸塚事業所 自己評価アンケート分析報告書

1. はじめに

本報告書は、「キッズ・ルピナス 東戸塚」において実施された保護者向け自己評価アンケートの結果を分析し、今後の運営改善や支援の質向上に役立てることを目的としています。対象は、児童発達支援（未就学児）および放課後等デイサービス（小学生）です。

2. 全体の傾向

児童発達支援は2名の回答があり、概ね高評価でしたが、一部の項目で「どちらともいえない」が見られ、支援内容の説明や家族支援への工夫が求められます。放課後等デイサービスは5名の回答があり、全体的に高評価が多い一方で、交流機会や情報提供、安全面での周知について課題が見られました。

3. 児童発達支援（3～5 歳）

3.1 評価の高かった点

- 環境整備や支援内容、支援計画に関する理解と実施状況は高く評価されています。

3.2 改善が見られる点と対策案

項目	評価傾向	改善案
専門的支援の実感	1 件が『どちらともいえない』	支援内容の事例紹介や職員の専門性の見える化
活動の多様性	活動プログラムの固定化が懸念	活動内容を HUG や HP で紹介
地域交流や家族支援	参加機会や情報提供に課題	イベント開催や研修会を定期開催し告知を強化
職員の共感的支援	伝わり方に差	日々の小さなやりとりを保護者に共有する機会を増やす

4. 放課後等デイサービス（小 1～小 6）

4.1 評価の高かった点

- 活動スペース、支援の質、支援計画、職員の姿勢、安全面は非常に高い評価。

4.2 改善が見られる点と対策案

項目	評価傾向	改善案
構造化と情報配慮	2 件が『どちらともいえない』	子どもへの配慮の工夫を HUG・HP で発信
地域との交流	3 件が『いいえ』	交流イベントや外出の報告、写真付きの通信で補完

家族支援イベント	1 件が『いいえ』	兄弟参加のイベント開催を企画
支援内容の具体性	個別支援の具体性が不透明	支援内容と目的を簡潔にまとめて通信に記載
職員配置・環境整備	1 件ずつ『どちらともいえない』	配置や運営体制の説明・工夫を伝える

5. 来年度への共通提案

- 支援内容や職員体制の「見える化」により信頼を強化
- 保護者への個別連絡や SNS 発信で交流と活動を可視化
- 地域や他機関とのつながりの機会創出と実施報告の強化
- 保護者アンケートの回答数を増やす工夫（リマインド、用紙の工夫など）